

申11号 発給電職場の労働環境改善に向けた申し入れ

第1項 2009年4月に実施された組織改正および今後の組織改正についての考え方

組合

会社

2009年4月に実施された組織改正の考え方と急遽変更に至った理由を明らかにすること。

情報の授受と経営陣との意思疎通強化のためエネルギー管理センターを立ち上げた。急遽の変更は信濃川発電所の不正取水がきっかけである。

2009年の組織改正では職場が混乱し苦労した。今後の組織改正には必要な準備期間と職場周知を徹底すること。

今回のような混乱を起こさないように、今後様々な問題も含めエネルギー管理センターが中心となり適切な対応を行っていく。

第2項 川崎発電所・信濃川発電所・給電技術センターの将来展望

発電の強化だけではなく送電網の強化に力を入れること。また、今後の大規模な設備更新には必要な要員を配置すること。

送電網の不具合も発生しており計画的に強化を進めていく。また、設備更新には必要な体制を構築し対応していく。

将来にわたり発給電部門をJR本体が強化・発展させていくことを確認

第3項 ISOの取得による業務量増大による対策について

ISOの取得により様々な業務への負担が増加している。超勤削減に向けて早急に対策を実施すること。

職場と丁寧な意見交換しながら業務の平準化を図っていく。

第4項 発給電へのニュースシステムの導入目的および維持管理体制について

発給電部門へニュースシステムを導入する目的を明らかにすること。

業務精度向上が目的であり、導入にあたり要員の削減はない。

導入にあたり、専任の担当者と定期的に担当者会議を開催すること

設備管理の一環として担当を明確化していく。必要であれば会議も開催する。

第5項 事務職社員の高齢化対策および技術継承について

退職者や転勤により要員が配置されていない職場がある。早急に要員を配置すること。

認識はしている。業務支障が無いよう要員の配置を行う。

働きがいのある職場を創り出そう！